

## 青少年育成事業(光明プロジェクト)

### 次年度への引継ぎ事項

#### 【運動面】

##### ■募集に関して

・今回教育支援教室を経由しての同意書回収を実施した。学校にこない生徒に同意書を渡す時間や同意書回収期日にまでに集まらない生徒がおり14名全員の同意書回収するまでに時間がかりました。2週間(予定より1週間遅れ)同意書の回収には時間がかかるので日程に余裕をもたせる必要があります。

・生徒が企業を選ぶ際は自宅からの近さ、複数人で参加出来るか(友達同士)、職種内容が重視される傾向がありました。受入企業の情報を今回同様に受入人数、当日の職場体験内容を記載すると生徒に正確に伝わります。昼食の有り・なしは生徒にとっては重要であることがわかりました。

・今回は女子生徒の参加が多く一部の職種に人気集中した。(女生徒13名・男生徒1名)女子生徒はパソコンを使った仕事や、エステ、看護などに興味があることがわかった。建設業などでもパソコンを使った部分などを強調すれば参加につながるのではないかと思います。

・メンバー企業側の参加が少ないと予想されたため中学校3年生に対象者を絞ったが、メンバー企業からの賛同もいただけた。(25社)今回はキャンプ事業後の議案作成となったため、事業実施までのすべてに余裕がなく事前予測が出来なかった部分が多かった、もっと早めに準備し生徒の様子を正確に伝えれば多くの企業に安心して生徒を受け入れてもらえたのではないかと思います。

#### 【運営面】

##### ■顔合わせ会実施について

・今回参加される生徒は、大人と接する機会が極端に少なく、職場体験に対する不安が大きいと、施設側より事前の相談がありました。そこで、職場体験にご協力いただく企業様には、生徒との事前顔合わせをお願いさせていただくことといたしました。3教室で実施した顔合わせ会には生徒(14名)・企業側(9社)がすべて参加していただき、どの教室も終始和やかな雰囲気で開催でき、当日の職場体験がスムーズに実施できました。

##### ■職場体験実施について

・職場体験前日は保護者にも電話をいれ、委員会担当者の電話番号を登録してもらい、職場体験当日は電話に出るようにしてもらい必要がある。また緊急連絡先記載の保護者と当日の送迎者が異なるケース(祖父母)が多く、保護者の連絡先と送迎者は別に確認する必要があります。

#### ■運営について

・委員会メンバーは職場体験サポートとして当日活躍してくれました、しかし事業構築していく段階で役割分担して実施出来なかった事が反省すべき点であり、事業構築の段階から委員会を巻き込んで進めるべきであります。

#### 【予算面】

##### ■抗原検査キットについて

・予算計上させていただいた抗原検査キットのおかげで安心して職場体験を実施することが出来ました。しかし、生徒の募集が審議通過後であったため、生徒参加者最大数と事業者最大数で見込んで準備していたため、使用数量に差異がでました。今回の事業で抗原検査キット30個を使用し、残り60個は事務局に置かせていただきます。

#### 【広報面】

##### ■对外発信について

・对外発信に関してプレスリリースやマスコミへの投函メンバーを経由しての発信をお願いしましたが市民の多くに発信するということまでは出来ませんでした。宮崎日日新聞の朝刊には掲載してもらえましたが、テレビには取り上げてもらえませんでした。後日談ではありますがテレビをつかった発信は顔が出せない取材は厳しいとの回答がありました。